

スクエア(SQ)

【セクター】 情報技術

【市場】 NYSE

【企業概要】

モバイル決済ソリューションを提供する米国企業です。スマートフォンに差し込んでクレジットカードやデビットカードによる決済を可能にするカードリーダー（図表1）とソフトウェアを提供して、利用する事業者から決済額に応じた手数料を稼得しています。ここ数年は金融やオムニチャネル化をサポートするサービスなど非決済分野への展開にも注力しています。2009年にツイッターの創業者でもある、ジャック・ドーシー氏が創業した会社です。

【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
17年12月期	984	-63	-0.17	0.00	2.0	-9.2	36.0
18年12月期	1,588	-38	-0.09	0.00	2.7	-4.0	34.2
19年12月期予想	2,279	368	0.76	0.00	3.1	12.8	-

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

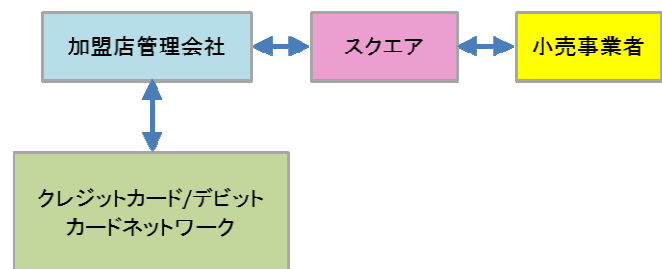
【主要指標】

図表1 スクエアのカードリーダー



（出所）クリス・ハリソン氏

図表2 スクエアの電子決済市場での位置づけ



（出所）会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

カードによる支払いを受け付けたくても難しかった零細事業者を主な顧客としています。タクシードライバー、喫茶店、法律家、庭師、各種小売店、レストランなどです。通常小売事業者がカード決済を導入する場合、「加盟店管理会社（アクワイアラー）」と契約しますが、事業規模によっては契約が割に合わないケースもありました。スクエアが小売事業者と加盟店管理会社の間に入ることによって、低コストでカード決済を導入できるようになっています（図表2）。

【見通し・注目点】

1-3月期決算は売上が前年同期比59%増、EPSが同83%増と大幅な伸長が続いています。18年4-6月期に買収したWEBサイト作成ツールの「Weebly」と企業向けケータリングサービスの「Zesty」の貢献を除く売上の伸びも前年同期比49%増でした。規模が大きい事業者の獲得に加え、過去数年に投入した新サービスが順調に貢献しています。同社サービスを利用する支払総額は226億ドルで前年同期比27%増と、10-12月期の同28%増に近い水準が維持されました。

（SBI証券 投資情報部 榮 聡）

（更新日 19/6/19）

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。